

令和元年12月 木更津市定例教育委員会会議 会議録

1. 日 時 令和元年12月17日(火) 午後1時00分～午後3時05分

2. 場 所 木更津市役所朝日庁舎 会議室F

3. 出席者 教育長及び委員

教育長 高澤 茂夫

委員 武井 紀夫

委員 渡部 佳子

委員 豊田 雅之

委員 井上 美鈴

職員

教育部長 岩埜 伸二

教育部次長兼教育総務課長 秋元 淳

教育部参事兼学校教育課長 今井 克彦

教育部参事兼文化課長 稲木 章宏

教育部参事兼図書館長 渡邊 雅夫

教育部参事兼中央公民館長 石井 一彦

学校給食課長 重城 秋子

生涯学習課長 野口 琢郎

まなび支援センター所長 岡崎 由子

学校給食センター所長 栗原 一郎

郷土博物館金のすず副館長 稲葉 昭智

資産管理課長補佐 森川 博之

(会議事務局)

教育総務課主幹 長谷川光敏

教育総務課主任主事 萩原奈央子

4. 傍聴人数 0名(非公開議案なし)

5. 議 案 なし

6. 報告事項

報告第10号 臨時代理の報告について

市議会の議決を要する事件の議案(令和元年度教育費12月補正予算案)について

7. 議事大要

○高澤教育長

定刻となりましたので、令和元年12月定例教育委員会会議を開催いたします。

会議録署名人には、武井委員にお願いいたします。また前回、11月定例会議の会議録につきましては、井上委員と私で、それぞれ確認、署名いたしました。

それでは、議案の審議に入りますが、今月の議案はありません。

続きまして、報告事項に移ります。報告第10号、臨時代理の報告「市議会の議決を要

する事件の議案（令和元年度教育費12月補正予算案）について」事務局から説明をお願いいたします。

○秋元教育部次長

報告第10号、臨時代理の報告「市議会の議決を要する事件の議案（令和元年度教育費12月補正予算案）について」の提案理由をご説明申し上げます。

議案資料2ページ及び3ページをご覧ください。この報告は、木更津市教育委員会組織及び運営規則第6条第1項の規定により、教育長の臨時代理により処理を行いました案件に関するものでございます。

12月市議会定例会に提案する教育委員会に係る令和元年度12月補正予算案につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、7ページのとおり令和元年11月20日付けで市長から教育委員会教育長に対し、意見の聴取がございましたが、12月市議会定例会への議案上程の日程を勘案すると、期日までに教育委員会会議を招集する暇がございませんでした。そのため、4ページにございますとおり11月22日付けで教育長の臨時代理で処理をし、「意見なし」と回答いたしましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

それでは、教育委員会に係る12月補正予算案の概要につきまして、ご説明申し上げます。5ページをご覧ください。今回の補正予算につきましては、はじめに歳入といたしまして補正前予算額（予算現額）12億5,286万2千円であったところ、51万3千円を減額し、総額12億5,234万9千円にしようとするものでございます。続きまして、6ページをご覧ください。歳出といたしましては、補正前予算額（予算現額）43億4,766万3千円であったところ、50款教育費を3,256万8千円減額し、総額を43億1,509万5千円にしようとするものでございます。

それでは、歳入・歳出のうち、人件費を除く補正予算の内容につきましてご説明申し上げます。8ページから11ページまでが、補正予算及び補正予算に関する説明書の教育委員会に関する部分の抜粋でございます。まず歳出をご説明させていただき、その中で関連する歳入をあわせてご説明申し上げます。9ページをご覧ください。10項 小学校費、5目 学校管理費、説明欄2. 学校維持管理運営費（1）小学校運営費につきましては、4月の人事異動に伴い、再任用職員が配置されたこと等により非常勤職員の人数が減ったことから、賃金等を155万5千円減額するものでございます。続きまして、（2）小学校施設管理費の597万2千円につきましては、エアコンの設置に伴い、光熱水費の使用料の増加が見込まれるため、需用費として増額するものでございます。次に、15項 中学校費、5目 学校管理費、説明欄2. 学校維持管理運営費（1）中学校運営費につきましては、先ほどご説明いたしました小学校運営費同様、4月の人事異動に伴い、再任用職員が配置されたこと等により非常勤職員の人数が減ったことから賃金等を310万9千円減額するものでございます。続きまして、（2）中学校施設管理費の438万9千円につきましては、小学校施設管理費と同様、エアコンの設置に伴い、光熱水費の使用料の増加が見込まれるため、需用費として増額するものでございます。

続きまして、10ページをご覧ください。25項 社会教育費、10目 青少年育成費、説明欄1. 青少年事業費（1）放課後子供教室推進事業費につきましては、県からの補助金内

定額が減額されたことにより事業内容を見直し、契約変更を行ったため30万4千円減額するものでございます。

恐れ入りますが、関連する歳入といたしまして8ページをお願いいたします。65款 県支出金、10項 県補助金、40目 教育費県補助金、5節 社会教育費補助金の説明欄1. 学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金 52万円の減額が県補助金の内定額変更に伴う歳入補正予算でございます。なお、歳出補正予算の30万4千円との差額分は一般財源にて補っております。

10ページへお戻りください。次に、30目 生涯学習まちづくり推進費、説明欄1. 生涯学習推進事業費 (1) 生涯学習基金積立金の7千円につきましては、社会教育費寄附金の受け入れに伴い増額するものでございます。

恐れ入りますが、関連する歳入といたしまして8ページをお願いいたします。75款 寄附金、5項 寄附金、30目 教育費寄附金、20節 社会教育費寄附金の7千円が寄附金に伴う歳入補正予算でございます。10ページへお戻りください。次に、30項 保健体育費、20目 学校給食費、説明欄2. 給食関係費の130万円につきましては、今年度より開始した飲み残しの牛乳処理について、当初の見込みより多くの凝固剤を必要としたことにより、凝固剤等の購入費を増額するものでございます。

続きまして、11ページをご覧ください。こちらは債務負担行為といたしまして、令和元年度分学校給食調理業務委託7, 549万3千円が新たに支出予定額として承認されております。

説明は以上でございます。

○高澤教育長

ただいま、事務局から説明がありました。

この件につきまして、ご質問・ご意見はございますでしょうか。

○武井委員

給食の部分で、飲み残しの量がかなり多いように見受けられますが、減らすことは難しいのでしょうか。

○重城学校給食課長

これまで、牛乳の飲み残しについては牛乳業者が回収しておりました。しかしながら排出業者として学校に責任があるとのことで、今年度より県下一斉に現在のような形になったものでございます。今年度から新たに始まったものですので、各学校においては負担をかけている部分が多いことも承知しておりますが、現在飲み残しの牛乳については凝固剤を入れ、固めて焼却処分をしております。今年度中の改善はなかなか難しいところではございますが、学校にも負担が多いということで今後新たな手法を検討していきたいと考えております。

○渡部委員

焼却処分の方法等については今後検討されるとのことですが、食育という観点で見たときに、やはり成長期に牛乳をとるということは栄養的にも良いものだと思いますので、そういった点での取り組みはいかがなのでしょうか。

○重城学校給食課長

ご指摘のとおりでして、今後食育にも力を入れてまいりたいと考えております。学校においては骨の成り立ちや牛乳の栄養性等について児童生徒に呼びかけているところもあると聞いておりますので、今後ともそういった取り組みを進めていくことも検討してまいります。

○高澤教育長

ほかにご質問・ご意見がなければ、報告事項につきましては、以上といたします。続きまして、その他の事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【その他、事務局連絡・報告事項】

- ・令和2年度教育費当初予算要求について

説明：秋元教育部次長、今井教育部参事兼学校教育課長、重城学校給食課長、野口生涯学習課長、稲木教育部参事兼文化課長、岡崎まなび支援センター所長、栗原学校給食センター所長、渡邊教育部参事兼図書館長、稲葉郷土博物館金のすず副館長、石井教育部参事兼中央公民館長、森川資産管理課長補佐

- ・令和元年12月市議会定例会の一般質問における答弁要旨について

説明：秋元教育部次長

- ・木更津市立小中学校空調設備運用の指針について

説明：今井教育部参事兼学校教育課長

- ・木更津市青少年指導関係運営協議会委員（補欠）の委嘱について（報告）

説明：岡崎まなび支援センター所長

- ・木更津市青少年問題協議会委員の委嘱について（報告）

説明：野口生涯学習課長

- ・令和2年木更津市成人式の開催について

説明：野口生涯学習課長

○高澤教育長

その他、委員からご意見等ございますか。

○豊田委員

先日、青少年問題協議会が開催されまして、その中で虐待に関する講話等をいただきました。現在、教育委員会において市内小中学校での虐待件数等の把握をされているようであれば、参考にお聞かせいただきたいと思います。

○今井教育部参事兼学校教育課長

今年度の数字はまだ集計がされておませんが、昨年度の数値を申し上げますと小学校88件、中学校23件、計111件です。全体、0歳～18歳までですと274件ですので約40%程度が小中学校での件数となっております。

○井上委員

教科書についてなのですが、小学校は上下巻に分かれていると思います。一方で中学

校は一般的に上下巻に分かれているわけではなく、一緒なのでしょうか？

なぜ伺ったかと申しますと、5教科を鞆に入れると非常に重くなってしまおうと感じております。教科書だけでなく、ワークやノート等もあつての重さだとは思いますが、少しでも軽く出来れば良いのではと常々感じていたことがございまして、お聞きしました。

○今井教育部参事兼学校教育課長

登下校で児童生徒が背負う鞆の重さについては昨年度も問題になったところでした、1つの取り組みとして、学校に置いていって良いものを増やすという方策ですね。木更津市においては昨年からは各学校にて実施しております。

○井上委員

我が子の話になってしまいますが、君津市においても5教科以外については置いていっても構わないとのことでした。しかしながら、一方で荷物検査もあるとのことですのでその点若干矛盾しているように感じるところもございまして、お話いたしました。個人的には子ども自身で何を持って帰り、置いていくのか選択できると良いのではと思っております。

○高澤教育長

教科書の改訂の話に戻りますが、選定の基準が色々あるのですがその中の1つとして教科書の厚さ、大きさ、重さも基準になっております。今年度の選定委員会でも話題に上りました。また、木更津市においては学校の鞆としてリュックサック型の鞆が多くなってきたように感じています。

他にご意見等ありますでしょうか。

なければ、その他を終了いたします。

それでは、事務局から次回の教育委員会会議につきまして、連絡をお願いいたします。

○事務局

次回、1月の定例教育委員会会議につきましては、1月14日（火）午後1時から、市役所朝日庁舎会議室Eで開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

○高澤教育長

以上をもちまして、令和元年12月定例教育委員会会議を終了いたします。

会議録署名人 教 育 長

委 員